

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	無期限
運用方針	投資信託証券への投資を通じて信託財産の中長期的な成長を図ることを目指して運用を行うことを基本とします。
主要運用対象	アイルランド籍外国投資信託である「BNYメロン・グローバル・クレジット・ファンド（※）」および国内籍証券投資信託である「マネーポートフォリオ・ファンド（適格機関投資家専用）」を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 同一銘柄の投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時（原則として12月6日。休業日の場合は翌営業日）に、基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。

※各コースにおいて、以下のクラスが入ります。  
Aコース（野村SMA・EW向け）：JPY Xヘッジクラス  
Bコース（野村SMA・EW向け）：JPY Xクラス



**BNY MELLON**

INVESTMENT MANAGEMENT

インサイト・グローバル・  
クレジット・ファンド

Aコース(野村SMA・EW向け)/Bコース(野村SMA・EW向け)

追加型投信／内外／債券

## 運用報告書（全体版）

第1期（決算日：2021年12月6日）

### 受益者のみなさまへ

平素は、格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「インサイト・グローバル・クレジット・ファンド Aコース（野村SMA・EW向け）／Bコース（野村SMA・EW向け）」は、2021年12月6日に第1期の決算を行いました。ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

**BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社**

東京都千代田区丸の内1丁目8番3号

丸の内トラストタワー本館

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

運用商品開発部

電話番号：03-6756-4600（代表）

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページ <https://www.bnymellonam.jp/>

## Aコース（野村SMA・EW向け）

### ■設定以来の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数) ブルームバーグ・ グローバル総合 クレジット指数 (円ベース、 ヘッジあり)	期中 騰落率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率				
(設定日) 2021年8月23日	円 10,000	円 —	% —	201.80	% —	% —	百万円 0.1
1期(2021年12月6日)	9,932	0	△0.7	199.80	△1.0	98.6	2,322

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産は、設定元本を表示しております。

(注) 参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しているものです。海外の指数は、基準価額の反映を考慮して、現地前々営業日の終値を採用しています。

### ■当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		(参考指数) ブルームバーグ・ グローバル総合 クレジット指数 (円ベース、 ヘッジあり)	期中 騰落率	投資信託 証券 組入比率
	騰落率	期中 騰落率			
(設定日) 2021年8月23日	円 10,000	% —	201.80	% —	% —
8月末	10,006	0.1	201.56	△0.1	90.0
9月末	9,958	△0.4	199.49	△1.1	98.7
10月末	9,943	△0.6	199.71	△1.0	98.6
11月末	9,909	△0.9	199.33	△1.2	98.6
(期末) 2021年12月6日	9,932	△0.7	199.80	△1.0	98.6

(注) 騰落率は設定日比です。

## Bコース（野村SMA・EW向け）

### ■設定以来の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数) ブルームバーグ・ グローバル総合 クレジット指数 (円ベース、 ヘッジなし)	期中 騰落率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率				
(設定日) 2021年8月23日	円 10,000	円 —	% —	308.50	% —	% —	百万円 0.1
1期(2021年12月6日)	10,318	0	3.2	311.57	1.0	98.8	1,530

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産は、設定元本を表示しております。

(注) 参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しているものです。海外の指数は、基準価額の反映を考慮して、現地前々営業日の終値を採用しています。

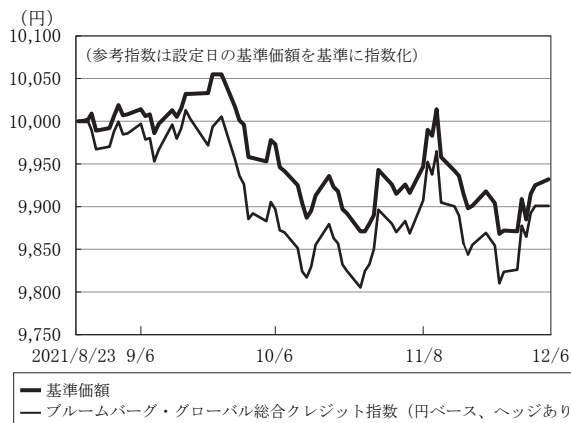
### ■当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		(参考指数) ブルームバーグ・ グローバル総合 クレジット指数 (円ベース、 ヘッジなし)	期中 騰落率	投資信託 証券 組入比率
	騰落率	期中 騰落率			
(設定日) 2021年8月23日	円 10,000	% —	308.50	% —	% —
8月末	9,998	△0.0	309.83	0.4	90.0
9月末	10,062	0.6	309.65	0.4	98.9
10月末	10,303	3.0	316.34	2.5	98.8
11月末	10,302	3.0	311.36	0.9	98.9
(期末) 2021年12月6日	10,318	3.2	311.57	1.0	98.8

(注) 騰落率は設定日比です。

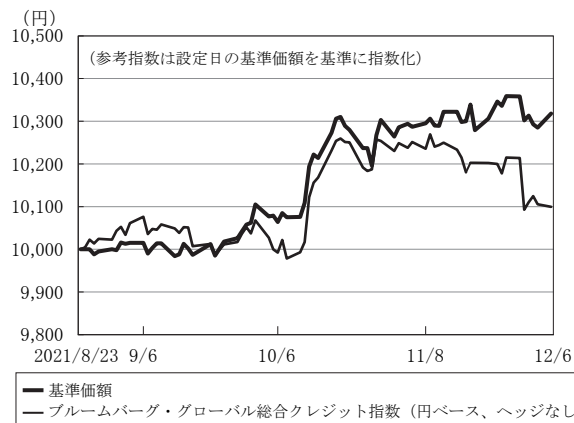
## ◆基準価額の推移

### Aコース（野村SMA・EW向け）



基準価額の期中騰落率は $\Delta 0.7\%$ となりました。一方、参考指数であるブルームバーグ・グローバル総合クレジット指数 (円ベース、ヘッジあり) の期中騰落率は $\Delta 1.0\%$ となりました。

### Bコース（野村SMA・EW向け）



基準価額の期中騰落率は $3.2\%$ となりました。一方、参考指数であるブルームバーグ・グローバル総合クレジット指数 (円ベース、ヘッジなし) の期中騰落率は $1.0\%$ となりました。

## ◆基準価額の主な変動要因

### Aコース（野村SMA・EW向け）

当ファンドの主要投資対象である「BNYメロン・グローバル・クレジット・ファンド (JPY Xヘッジクラス)」が下落したことから、当ファンドの基準価額も下落しました。

### Bコース（野村SMA・EW向け）

当ファンドの主要投資対象である「BNYメロン・グローバル・クレジット・ファンド (JPY Xクラス)」が上昇したことに加え、米連邦準備理事会 (FRB) が緩和政策を転換する意向を示していることなどを背景に米ドル高・円安が進行したことから当ファンドの基準価額も上昇しました。

#### (上昇要因)

- ・2021年9月半ば、新型コロナウイルス問題からの経済回復が進む中、米国企業などの好決算への期待感の高まりを背景に、クレジット市場が底堅く推移したこと

#### (下落要因)

- ・2021年9月後半～10月前半、米国や欧州国債利回りの上昇に加え、中国不動産セクターの信用不安や世界的な供給不足によるインフレ悪化が嫌気され、クレジット市場が総じて軟調に推移したこと
- ・2021年11月後半、感染力が非常に強いとされる新型コロナウイルスのオミクロン株感染流行に対する警戒感などからリスク資産が下落したこと

## ◆市場概況

期初、グローバル経済正常化への期待感の高まりや、欧州中央銀行（ECB）による新型コロナウイルス危機対応の資産購入特別枠（PEPP）について早期終了観測が浮上したことなどから国債金利が上昇（価格は下落）しました。一方、クレジット市場は好調な企業業績を背景に社債の国債に対する上乗せ金利（スプレッド）が縮小し、底堅く推移しました。2021年9月に入り、世界的なサプライチェーン（供給網）危機やエネルギー価格の高騰がインフレの上昇につながるとの思惑から国債金利は上昇する中、クレジット市場も中国不動産セクターの債務問題が嫌気され上値の重い展開が継続しました。2021年10月以降も半導体不足等などによる供給面の制約問題や主要中銀によるタカ派的な姿勢の強まりなどから国債市場の値動きが激しくなりましたが、社債市場は比較的安定的に推移しました。2021年11月後半、南アフリカなどでみつけた新型コロナウイルスの変異（オミクロン）株に対する警戒感から、新興国やハイ・イールド債券などのリスク資産は総じて下落しましたが、その後底入れ感などから投資家の買い戻す動きが活発化し、やや反発して期末を迎えました。

## ◆運用概況

### Aコース（野村SMA・EW向け）

当ファンドは、「B N Yメロン・グローバル・クレジット・ファンド（JPY Xヘッジクラス）」及び「マネーポートフォリオ・ファンド（適格機関投資家専用）」に対する投資を行い、期を通じて「B N Yメロン・グローバル・クレジット・ファンド（JPY Xヘッジクラス）」の組入比率を高位に保ちました。Aコース（野村SMA・EW向け）については、外貨建ての資産に関して原則として日本円で為替ヘッジを行いました。

### Bコース（野村SMA・EW向け）

当ファンドは、「B N Yメロン・グローバル・クレジット・ファンド（JPY Xクラス）」及び「マネーポートフォリオ・ファンド（適格機関投資家専用）」に対する投資を行い、期を通じて「B N Yメロン・グローバル・クレジット・ファンド（JPY Xクラス）」の組入比率を高位に保ちました。

以下は「B N Yメロン・グローバル・クレジット・ファンド（JPY Xヘッジクラス）」および「B N Yメロン・グローバル・クレジット・ファンド（JPY Xクラス）」の運用の概況です。

## 市場配分

先進国の投資適格債が他セクターとの対比で割高と考え抑制的としました。一方、コロナ危機後の回復に出遅れ感のある先進国のハイ・イールド債券や資産担保証券（ABS）、新興国国債（非投資適格）に投資機会が残ると考え、投資比率を高めとしました。

## 業種配分

景気循環セクターなどコロナ危機で打撃を受けたセクターの回復を予想し、小売り、航空セクターなどの投資比率を高めとしました。一方、割高感のある素材やヘルスケアなどを抑制的としました。2021年10月、エネルギー価格の高騰を受け、同セクターの投資比率を参考指数対比高めとしたことが奏功しましたが、不動産セクターを高めとしたことや公益セクターを低めとしたことがマイナスとなりました。

## ◆収益分配

Aコース（野村SMA・EW向け）、Bコース（野村SMA・EW向け）とも当期の収益分配については、基準価額水準等を勘案し、見送りとさせていただきます。分配に充てなかった収益につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## ■分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	Aコース (野村SMA・EW向け)	Bコース (野村SMA・EW向け)
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%	— —%
当期の収益	—	—
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	1	318

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ◆今後の運用方針

### Aコース（野村SMA・EW向け）

当ファンドでは、引続きファンドの基本方針に則り、「BNYメロン・グローバル・クレジット・ファンド（JPY Xヘッジクラス）」を高位に組み入れた運用を行います。

資産運用会社であるインサイト・インベストメント・マネジメント（グローバル）リミテッドの独自の運用プロセスやリスク管理手法を活用し、主としてグローバルのハイ・イールド社債、新興国社債、新興国ソブリン債、ABS等への投資を通じて、マイナスのリターンを極力抑制した魅力あるグローバル社債のリターンのご提供を目指します。米ドル建ての資産に関して日本円で為替ヘッジを行い、引き続き為替変動リスクの低減を図って参ります。

### Bコース（野村SMA・EW向け）

当ファンドでは、引続きファンドの基本方針に則り、「BNYメロン・グローバル・クレジット・ファンド（JPY Xクラス）」を高位に組み入れた運用を行います。

資産運用会社であるインサイト・インベストメント・マネジメント（グローバル）リミテッドの独自の運用プロセスやリスク管理手法を活用し、主としてグローバルのハイ・イールド社債、新興国社債、新興国ソブリン債、ABS等への投資を通じて、マイナスのリターンを極力抑制した魅力あるグローバル社債のリターンのご提供を目指します。

## Aコース（野村SMA・EW向け）

### ■ 1万口当たりの費用明細

（2021年8月23日～2021年12月6日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	円 10	% 0.104	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、9,954円です。
（投信会社）	（ 9）	（0.088）	信託財産の運用指図、法定開示書類の作成、基準価額の算出等の対価
（販売会社）	（ 1）	（0.010）	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（受託会社）	（ 1）	（0.006）	信託財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	10	0.105	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	（ 0）	（0.001）	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷）	（ 1）	（0.014）	目論見書、運用報告書等の印刷・交付等に係る費用
（その他）	（ 9）	（0.089）	組入ファンドの管理報酬等
合 計	20	0.209	

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

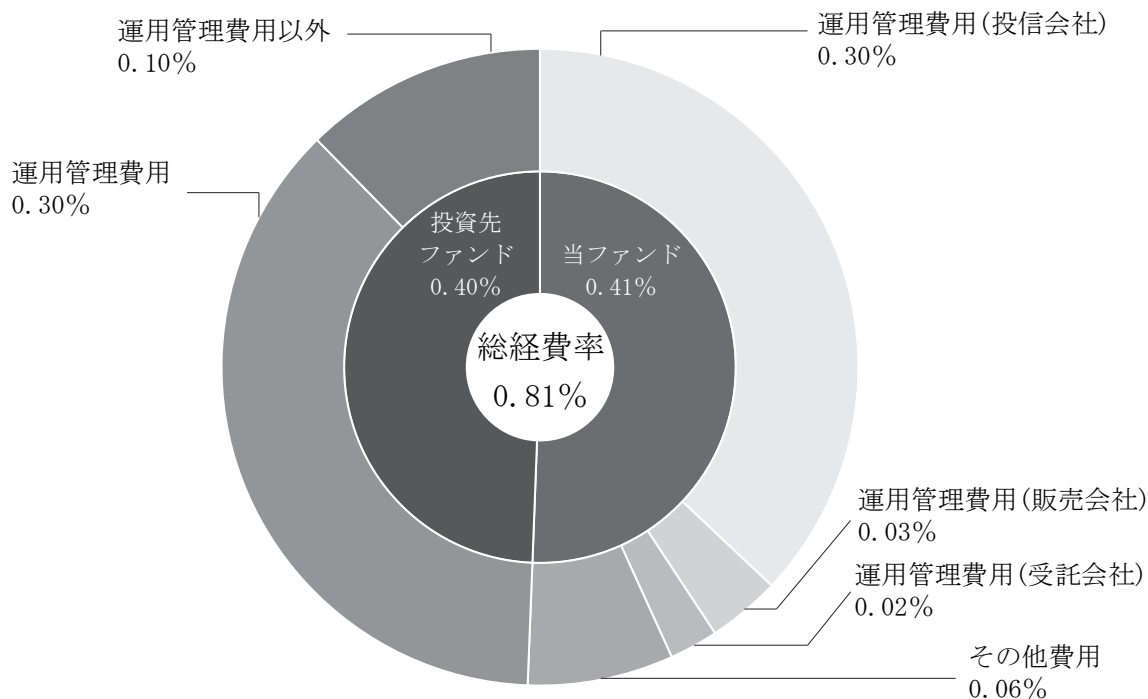
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入してあります。

## Aコース（野村SMA・EW向け）

### （参考情報）

#### ○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.81%です。



総経費率（①+②+③）	0.81%
①当ファンドの費用の比率	0.41%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.30%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.10%

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。



## Aコース（野村SMA・EW向け）

### ■売買及び取引の状況 投資信託証券

（2021年8月23日～2021年12月6日）

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	マネーポートフォリオ・ファンド(適格機関投資家専用)	14,424,840	14,280	—	—
外国	BNYメロン・グローバル・クレジット・ファンド(JPY Xヘッジクラス)	22,951,058	2,274,780	2,733	270

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) 単位未満は切り捨て。

### ■利害関係人との取引状況等

（2021年8月23日～2021年12月6日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

### ■組入資産の明細

（2021年12月6日現在）

#### ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄	当期末		
	口数	評価額	比率
マネーポートフォリオ・ファンド(適格機関投資家専用)	14,424,840	14,277	0.6
BNYメロン・グローバル・クレジット・ファンド(JPY Xヘッジクラス)	22,948,325	2,276,643	98.0
合計	37,373,165	2,290,921	98.6

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 単位未満は切り捨て。

### ■投資信託財産の構成

（2021年12月6日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	2,290,921	97.9
コール・ローン等、その他	48,230	2.1
投資信託財産総額	2,339,151	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

## Aコース（野村SMA・EW向け）

### ■資産、負債、元本及び基準価額の状況（2021年12月6日現在）

項目	当期末
	円
(A) 資産	2,339,151,678
コール・ローン等	48,230,236
投資信託受益証券(評価額)	2,290,921,442
(B) 負債	16,217,240
未払金	14,710,000
未払信託報酬	843,198
その他未払費用	664,042
(C) 純資産総額(A-B)	2,322,934,438
元本	2,338,815,444
次期繰越損益金	△ 15,881,006
(D) 受益権総口数	2,338,815,444口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,932円

(注) 当ファンドの期首元本額は100,000円、期中追加設定元本額は2,338,815,444円、期中一部解約元本額は100,000円です。

(注) 期末の1口当たり純資産額は、0.9932円です。

(注) 元本の欠損  
期末において貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は15,881,006円です。

### ■損益の状況（2021年8月23日～2021年12月6日）

項目	当期
	円
(A) 有価証券売買損益	2,133,007
売買益	2,221,392
売買損	△ 88,385
(B) 信託報酬等	△ 1,784,975
(C) 当期損益金(A+B)	348,032
(D) 追加信託差損益金 (売買損益相当額)	△16,229,038 (△16,229,038)
(E) 計(C+D)	△15,881,006
(F) 収益分配金	0
次期繰越損益金(E+F)	△15,881,006
追加信託差損益金 (売買損益相当額)	△16,229,038 (△16,229,038)
分配準備積立金	348,032

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券売買等損益額(348,032円)より分配対象収益は348,032円(10,000口当たり1円)ですが、当期に分配した金額はありません。

### ■分配金のお知らせ

当期の分配金はありません。

## Bコース（野村SMA・EW向け）

### ■ 1万口当たりの費用明細

（2021年8月23日～2021年12月6日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	円 11	% 0.104	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、10,166円です。
（投信会社）	（ 9）	（0.088）	信託財産の運用指図、法定開示書類の作成、基準価額の算出等の対価
（販売会社）	（ 1）	（0.010）	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（受託会社）	（ 1）	（0.006）	信託財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	8	0.079	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	（ 0）	（0.001）	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷）	（ 1）	（0.011）	目論見書、運用報告書等の印刷・交付等に係る費用
（その他）	（ 7）	（0.067）	組入ファンドの管理報酬等
合 計	19	0.183	

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

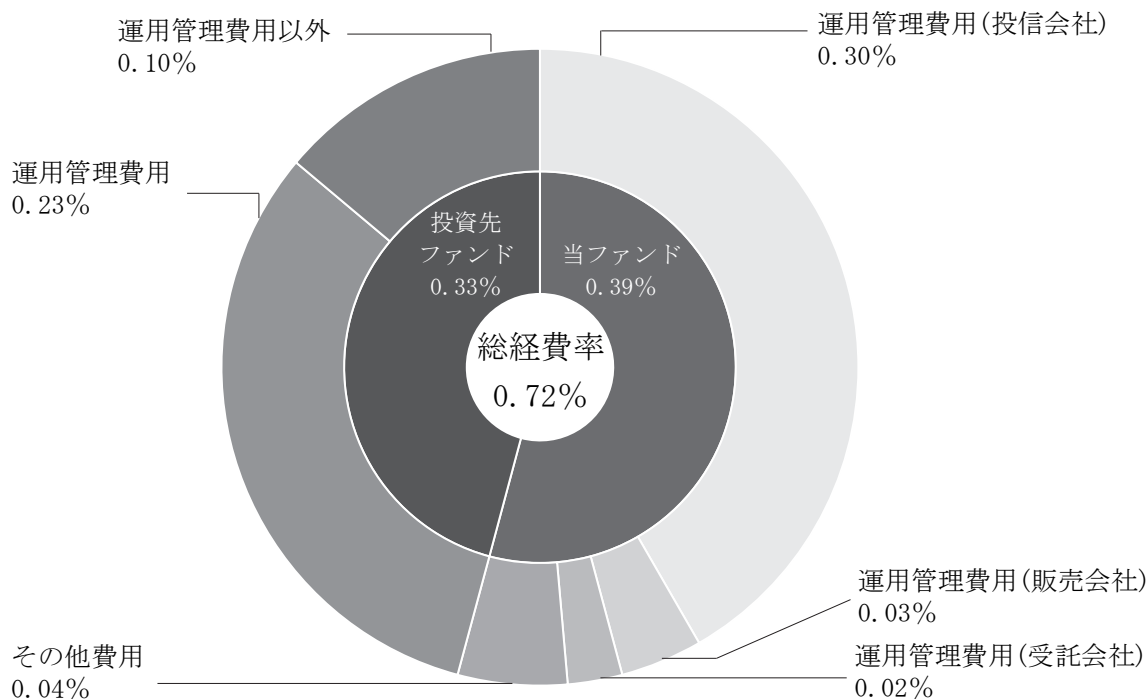
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入してあります。

## Bコース（野村SMA・EW向け）

### （参考情報）

#### ○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.72%です。



総経費率（①+②+③）	0.72%
①当ファンドの費用の比率	0.39%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.23%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.10%

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## Bコース（野村SMA・EW向け）

### ■売買及び取引の状況 投資信託証券

（2021年8月23日～2021年12月6日）

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	マネーポートフォリオ・ファンド(適格機関投資家専用)	12,052,421	11,930	—	—
外国	BNYメロン・グローバル・クレジット・ファンド(JPY Xクラス)	14,709,889	1,495,190	822	83

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) 単位未満は切り捨て。

### ■利害関係人との取引状況等

（2021年8月23日～2021年12月6日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

### ■組入資産の明細

（2021年12月6日現在）

#### ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄	当期末		
	口数	評価額	比率
マネーポートフォリオ・ファンド(適格機関投資家専用)	12,052,421	11,929	0.8
BNYメロン・グローバル・クレジット・ファンド(JPY Xクラス)	14,709,066	1,500,240	98.0
合計	26,761,487	1,512,170	98.8

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 単位未満は切り捨て。

### ■投資信託財産の構成

（2021年12月6日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	1,512,170	85.9
コール・ローン等、その他	248,518	14.1
投資信託財産総額	1,760,688	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

## Bコース（野村SMA・EW向け）

### ■資産、負債、元本及び基準価額の状況（2021年12月6日現在）

項目	当期末
	円
(A) 資産	1,760,688,563
コール・ローン等	248,518,094
投資信託受益証券(評価額)	1,512,170,469
(B) 負債	230,021,458
未払金	229,530,000
未払信託報酬	271,965
その他未払費用	219,493
(C) 純資産総額(A-B)	1,530,667,105
元本	1,483,464,326
次期繰越損益金	47,202,779
(D) 受益権総口数	1,483,464,326口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,318円

(注) 当ファンドの期首元本額は100,000円、期中追加設定元本額は1,483,464,326円、期中一部解約元本額は100,000円です。

(注) 期末の1口当たり純資産額は、1.0318円です。

### ■損益の状況

(2021年8月23日～2021年12月6日)

項目	当期
	円
(A) 有価証券売買損益	5,132,287
売買益	5,161,617
売買損	△ 29,330
(B) 信託報酬等	△ 577,020
(C) 当期損益金(A+B)	4,555,267
(D) 追加信託差損益金	42,647,512
(売買損益相当額)	( 42,647,512)
(E) 計(C+D)	47,202,779
(F) 収益分配金	0
次期繰越損益金(E+F)	47,202,779
追加信託差損益金	42,647,512
(売買損益相当額)	( 42,647,512)
分配準備積立金	4,555,267

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券売買等損益額(4,555,267円)、および信託約款に規定する収益調整金(42,647,512円)より分配対象収益は47,202,779円(10,000口当たり318円)ですが、当期に分配した金額はありません。

### ■分配金のお知らせ

当期の分配金はございません。

## <BNYメロン・グローバル・クレジット・ファンド（JPY Xヘッジクラス）の状況>

## <BNYメロン・グローバル・クレジット・ファンド（JPY Xクラス）の状況>

インサイト・グローバル・クレジット・ファンド Aコース（野村SMA・EW向け）が投資する（JPY Xヘッジクラス）は2021年8月13日、インサイト・グローバル・クレジット・ファンド Bコース（野村SMA・EW向け）が投資する（JPY Xクラス）は2021年8月6日に設定されているため、当該期間中の該当事項はありません。

## <マネーポートフォリオ・ファンド（適格機関投資家専用）の状況>

主要投資対象であるマネーポートフォリオ・ファンド（適格機関投資家専用）の決算は、年1回（毎年1月）です。以下は直近の決算期末である2021年1月18日現在の状況です。

### ■ 1万口当たりの費用明細

（2020年1月18日～2021年1月18日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	円 3	% 0.033	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、9,919円です。
（投信会社）	(2)	(0.021)	信託財産の運用指図、法定開示書類の作成、基準価額の算出等の対価
（販売会社）	(1)	(0.007)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（受託会社）	(1)	(0.006)	信託財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	4	0.037	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（その他）	(4)	(0.037)	金融商品取引に要する諸費用
合 計	7	0.070	

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入してあります。

### ■ 組入資産の明細

（2021年1月18日現在）

#### 親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
マネーポートフォリオ・マザーファンド	千口 163,526	千口 129,888	千円 129,316

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。



■（参考情報）親投資信託の組入資産の明細  
 <マネーポートフォリオ・マザーファンド>

（2021年1月18日現在）

下記は、マネーポートフォリオ・マザーファンド全体（129,888千口）の内容です。

国内公社債

(A) 国内（邦貨建）公社債 種類別開示

区 分	当 期				末		
	額面金額	評 価 額	組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円	千円	%	%	%	%	%
	90,000	90,001	69.6	—	—	—	69.6
	(90,000)	(90,001)	(69.6)	(—)	(—)	(—)	(69.6)
合 計	90,000	90,001	69.6	—	—	—	69.6
	(90,000)	(90,001)	(69.6)	(—)	(—)	(—)	(69.6)

(注) ( )内は非上場債で内書きです。

(注) 組入比率は、このファンドが組み入れている親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 単位未満は切り捨て。

(注) 一印は組み入れなし。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 残存期間が1年以内の公社債は原則としてアキュムレーションまたはアモチゼーションにより評価しています。

(B) 国内（邦貨建）公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末			
	利 率	額面金額	評 価 額	償還年月日
国債証券	%	千円	千円	
第882回国庫短期証券	—	90,000	90,001	2021/1/20
小 計		90,000	90,001	
合 計		90,000	90,001	

(注) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。